



子どものネットトラブル

～乳幼児期からはじまっています、メディアとの関わり～

昨今話題になっている、SNS上でのトラブル等、ネットコミュニケーションの問題については、赤ちゃんの頃から始まっていることをご存知ですか？

子どもたちは、それぞれの発達段階で色々な事を吸収して成長していきます。

その中で、TV・ゲーム機・スマホなどのツールは使い方を間違えると子どもたちの成長を阻害する要因になります。それぞれの段階に応じて親子で話し合い、家庭内でのルールを作り、守っていくこと及びフィルタリングを活用することは、子どもたちの成長に責任を持つ保護者の役目でもあります。

そのうえで、思春期を迎えた子どもたちには、しっかりとしたメディア・リテラシー（情報の取捨選択）教育も必要です。私たち長崎県メディア安全指導員はこれらの問題点を保護者・子どもたちと一緒に考えていくことを目的とした啓発活動を行っています。是非ご活用ください。

長崎県メディア安全指導員 江副 信一郎

メディアとの関わり	小学生	中学生・高校生
	テレビ、ゲームの長時間使用	SNS※1 (LINE・ツイッター等) による友達関係トラブル
乳幼児	ゲームソフトには年齢制限があります。(モンスターハンターなどは15才以上)	ネットによる出会いの被害
テレビ・DVD・スマホに子守りをさせない	テレビ・DVD・スマホに子守りをさせない	個人情報の露出・流出※2
		ネット依存症

※1 SNSとは、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。プロフィールサイトのように、名前や住所、趣味など自己紹介を書くことができ、それを見たら返事が来るコミュニティサイト（ゲームサイトなどを含む）
 ※2 露出とは、自ら個人情報を発信することであり、流出とは、自分以外の第三者によって個人情報を発信されること。

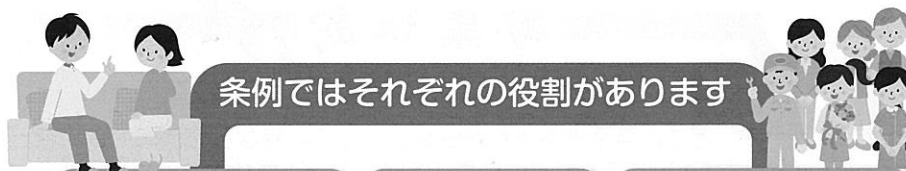
連絡先：長崎県こども政策局こども未来課 地域子育て支援班 (095-895-2686)

『私たち市民の力で、子どもたちを守りましょう』

いじめ、児童虐待、体罰など（以下「いじめなど」）は、子どもの尊厳を脅かし、基本的人権を侵害するもので、絶対に許されない行為です。

長崎市は、4月1日、「長崎市子どもを守る条例」を施行しました。条例では、いじめなどを防止し、子どもが安心して生活し、学ぶことができる環境づくりを行うことを宣言しています。

私たち一人ひとりが、社会の宝であり未来の希望である子どもたちを守り、地域全体で子どもを育てましょう！



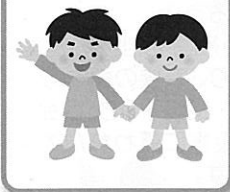
条例ではそれぞれの役割があります

〈保護者〉
 養育と成長に責任があり、愛情をもって育み、しつけます。

〈子ども〉
 悩みがあるときは、すぐに相談しましょう。

〈市民や事業者〉
 市や学校が行ういじめ等の防止等の取り組みに協力します。

〈市〉
 各関係機関等と連携して必要な施策を総合的に実施します。



〈育ち学ぶ施設〉
 いじめ等を見逃さず、子どもが安心できる環境を整えます。



〈学校〉
 各関係機関と連携しいじめ等の防止や早期発見に取り組み、適切かつ迅速に対応します。



いろいろな相談電話

- ◇こども総合相談（子育て支援課）
 ☎825-5624
 ☎822-8573
 平日8：45～17：30
- ◇長崎市教育研究所
 ☎0120-556275
 平日9：00～17：00
- ◇子ども人権110番
 ☎0120-007-110
 平日8：30～17：15
- ◇いじめ相談ホットライン
 ☎0570-078310
 24時間対応



小島中学校区青少年健全育成協議会 活動事業報告

小島中学校区青少年育成協議会 菊村 弘美
市子連専門委員(愛宕小)

平成26年6月22日 子ども会指導者・リーダー研修会を開催しました。小島育成協では毎年6月に各子ども会の指導者とリーダーとなる小学5・6年生を対象に研修会を行っています。ここ数年はドッチビーや料理といった体験型の研修を行っていましたが、今年は長崎市教育委員会の本田勝一郎先生を講師としてお迎えしファミリープログラムを実施しました。

初めて顔を合わせる各子ども会の指導者と子どもたち。最初の子ども会紹介の時間は緊張気味でしたが、アイスブレイキングですっかりリラックスモードに。その後のグループトークにも弾みがついた様子で、子ども会の問題や今後の活動について楽しい雰囲気の中、自由に意見を出し合うことができました。「それぞれの子ども会が、どのような活動を行っているのか等の情報交換は今後の活動の参考になった。また励みにもなった」等、嬉しい感想を聞くことができました。

本田先生は「子ども会を通して子ども同士の関わり必要性は欠かすことはできないだけに、大人が諸事情を考え対策を立てることが大事である」とお話をくださいました。私たち育成協役員はこれからも、地域の子どものために活動してくださる方々の、サポートができるよう力を合わせて頑張っていきたい。そう思える貴重な一日となりました。

〈講師：本田 勝一郎先生〉

Q 感想はどうでしたか？

皆さんが楽しく話し合い、どんどん前向きになっていく姿が嬉しかったです。

Q 参加した子供たちの反応はどうでしたか？

とめどなくアイデアを出してくれたのがうれしかったです。

「なるほど」と教えられ、大変感心させられました。

Q メッセージをお願いします。

今回話し合ったことをぜひ一つでも実現していただき、「してみたい活動」を大人が支え、子どもたちに、自分たちの手で取り組み、自信を感じる機会を作ってください。高学年の子どもが低学年の子どものお世話をしたり、喜ばせたりする経験を仕組んで、させてみてください。うまく行かなくても、ほめられる経験がその子の成長につながります。大人は我慢して見守ることが大変ですが、ぜひよろしくをお願いします。

先生に
質問して
みました！



上小島4丁目子ども会 会長 矢野 千晃

子ども会の指導者と子どもたちが一緒になって楽しく遊びながら、子ども会の問題や今後の活動での要望をまとめる事ができました。

自分が住んでいる中学校区に子ども会がこんなにもあり、活動内容の情報交換ができた事で、参考にもなり、励みにもなりました。

子ども会活動の意義を学び、これからも多くの子ども達に関わっていける喜びを感じました。

編集後記

今年の夏の異常気象は各地に大きな傷跡を残しました。どこに発生するかわからないゲリラ豪雨などの情報も間に合わない。また、海では熱帯に多い毒のある魚介類なども発見されて事故も多数発生して居ります。

各地区で作成した防災マップで考えられた災害以上の力が襲い暴れています。

東日本大震災に多くの人々が被害に遭った地区と、一人の犠牲者も出さなかった地区があります。

これから年々温暖化が進む限り、より大きな災害が襲う確率は高くなるだろう。

他の地区の被害を自分の住むところに置き換えて家族で常に話すことにより、家族の命を守るのではないだろうか。

今回、広島・長崎平和交歓会が集中豪雨災害で中止になった。不幸にして、災害に遭われた方々にお悔やみを申し上げて冥福をお祈り致します。

ジュニアリーダーの研修会が、後日開催され生き生きとした笑顔の中にも真剣な眼差しと活発な話し合いにふれ、出席された今後のリーダー達に逢えたことが、これからの参考書となった思いです。

子どもたちの素晴らしい活動に感謝です。

子ども ゆめフェスティバル '14

11月22日(土・12:00~15:00)に、長崎市民体育館で開催されます。

子どもたち手作りのゲームコーナー、ステージ発表などの楽しい催しが盛りだくさんです。

全て無料で遊べるので、子どもさん、大人の方、皆様のご来場をお待ちしています！

